



2020年6月12日
ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

2020年6月12日の
ティー・ロウ・プライス 米国成長株式ファンドの基準価額の変動について

2020年6月12日のティー・ロウ・プライス 米国成長株式ファンド（愛称：アメリカン・ロイヤルロード）の基準価額が前営業日比で大きく下落したことを受け、その主な下落要因と今後の見通しおよび運用方針についてお知らせいたします。

【基準価額の騰落率】

	6/11（木）の 基準価額	6/12（金）の 基準価額	前営業日比	前営業日比 騰落率
ティー・ロウ・プライス 米国成長株式ファンド	10,690 円	10,087 円	▲603 円	▲5.64%

【市場環境】

マーケット指標	6/10（水）	6/11（木）	騰落率
S&P500 種インデックス（米ドルベース）	3,190.14	3,002.10	▲5.89%

出所：ブルームバーグのデータを元にティー・ロウ・プライスが作成

為替レート（対円）	6/11（木）	6/12（金）	騰落率
米ドル	107.01	106.69	▲0.30%

出所：投資信託協会（対顧客電信売買相場の仲値）

【基準価額の下落要因】

6月11日の世界株式市場はほぼ全面安となりました。株価はこのところ順調な経済活動の再開と景気のV字回復期待を織り込む形で大幅に上昇していましたが、米連邦準備理事会（FRB）が前日の連邦公開市場委員会（FOMC）後に発表した景気見通しが低調だったことが投資家心理の悪化を招きました。FRBが、失業率は当面高止まり、米国経済の回復も2023年以降になるとの見通しを示し、今後の先行き不透明感は強く2022年末までゼロ金利政策を維持するとの方針を表明したことで、早期の景気回復という市場参加者の期待に水を差す形となりました。

また、全米で行動制限の緩和が進む中、経済活動の再開に比較的前向きな一部の州を中心に新型コロナウイルスの新規感染者数および入院患者数の急増が明らかとなったことで、医療崩壊や感染拡大に対する懸念が高まり、経済活動の再停止の可能性に目が向けられました。銀行株、原油価格の下落を背景にエネルギー関連銘柄、景気回復期待で堅調に推移してきた旅行関連銘柄が大幅に下げました。

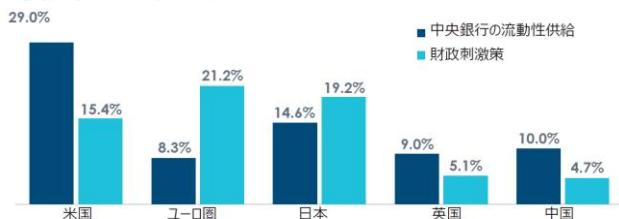
【今後の見通しおよび運用方針】

新型コロナウイルスの感染第二波の広がりや終息期間を予測するのは困難なことです。一方でこれらの要因が景気や企業業績の落ち込み度合いや回復時期に影響を与えるため、昨日のように一時的に株価変動が高まる場面が今後も起こりうると思われます。こうしたなか運用チームでは、株式市場回復の目安として、ウイルス感染動向や経済の悪化状況の方向性を注視しています。悪化ペースの鈍化傾向が続くのであれば市場は落ち着くと見えています。最近では多くの国でウイルス検査が進み、感染状況の全体像の把握ができ、ウイルス感染の特徴などの情報が蓄積されてきており、仮に感染第二波の広がり

兆候が見られたとしても、過去データが何もなかった数ヶ月前と違って以前より効果的な経済封鎖などの政策が打てる状況にあり、以前のような急速な状況悪化にはならないと考えています。また、図表1で示したように多くの国で経済対策を目的に十分な財政政策や金融緩和策が打たれており、景気や企業活動を下支えしていくと見ています。

パンデミックに対応する世界各地の景気対策

(図表1) GDPに対する割合



2020年4月30日現在

出所：コーナーストーン・マクロ。

こうした考えのもと運用チームでは、足元のような株価変動が高まる局面では長期有望銘柄を魅力的な株価水準で投資できる機会と捉え、個別企業の調査に注力し、株価変動を注視してまいります。

個別企業調査においてティー・ロウ・プライスの運用部門では、例えば2020年3月、新型コロナウイルス感染の拡大で直接企業訪問ができないなか、世界中の経営陣と1,200回以上にのぼる電話やビデオ会議を実施しました。その数は前年同月比で5倍以上の増加となっています。また、3月にアナリストが提供した調査レポートの数も通常の月と比較して約1.5倍となっています。こうした調査を通じて有望銘柄の発掘に努めています。

以上

投資信託および当資料に関する留意点について

- 当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が、情報提供等の目的で作成したものであり、特定の運用商品を勧誘するものではなく、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。
- 当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。また、本資料で示したデータ等は、情報提供を目的として掲載したものであり、将来の投資成果を示唆、または保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、内容をよくお読みください。また、投資のご判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。
- 投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 「T. ROWE PRICE, INVEST WITH CONFIDENCE」および大角羊のデザインは、ティー・ロウ・プライス・グループ、インクの商標または登録商標です。

投資信託に係る費用について

- 投資信託の投資者が負担する費用には以下があります。
- 購入時手数料：購入価額に上限3.3%（税抜3.0%）を乗じて得た額
- 運用管理報酬（信託報酬）投資信託の純資産総額に対し、年1.463%（税抜1.33%）の率を乗じた額
- その他費用：法定書類等の作成等に要する費用、監査費用、組入る有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等
- 上記の費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。
- 上記の手数料・費用等の合計額については、投資者が投資信託を保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

注意：上記に記載しているリスクや費用等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託ごとに異なります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第3043号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会/一般社団法人投資信託協会